

IV 重点方針・主要施策体系図

基本理念：ひとつの浜松で

目標

- (1) 中山間地域の市民が、ふるさとに愛着と誇りを持ち、今後もいきいきと活躍していくことができる地域を目指します。
- (2) 全ての市民が「中山間地域は浜松の宝である。」と思う魅力的な地域を目指します。

重点方針

1. 人の流れをつくる

～市民同士の交流から生まれる地域づくりを推進します～

2. 地域を元気にする

～持続可能な地域運営の仕組みをつくります～

3. 産業の力で地域を潤す

～地域資源の活用により産業を活性化します～

4. 地域をプロモーションする

～地域の魅力を生かして賑わいを再生します～

5. 暮らしを守る

～暮らし続けられる生活環境を確保します～

築く中山間地域の未来

主要施策

①市内間交流の促進

②中山間地域交流プロモーション

③小規模、高齢化集落の維持

④移住・定住の促進

⑤遊休施設の活用

⑥農産物の特産品化、6次産業化の推進

⑦林業の再生

⑧コミュニティビジネスの創出

⑨有害鳥獣対策の強化

⑩地産地消の推進

⑪中核商店街の活性化

⑫歴史的・文化的資産を活用した地域づくり

⑬地域資源を強みにした誘客の促進

⑭地域の交通手段の確保

⑮社会基盤格差の是正

⑯飲料水の安定的な供給

⑰保健、医療、福祉の確保

⑱日常の消費生活の確保

⑲防災対策の強化

概要

交流情報の整理やマッチング体制の強化等により、中山間地域と都市部のおもむく年代、あらゆる個人・企業・団体が交流する機会を増やすことで、市民同士の主眼的交流が、積極的・多岐にわたる流れをつくり出す。

中山間地域に豊富に存在する地域資源や人的資源を交流につなげるよう、様々な情報技術やメディアを使い、都市部市民や企業などの協力を得て、広く市民に伝えていきます。

集落同士の連携や、都市部との連携、NPOや企業等との連携、外部人材の活用などにより、集落機能の維持・活性化を進めます。

交流から移住・定住に発展するよう、さまざまな情報提供や、地域の受け入れ体制の整備を進めます。

廃止となった施設などを活用した地域主体の取り組みを支援し、遊休施設を地域活性化のための積極的に活用します。

営業をはじめとする、農業を元とするものにするため、創業工夫による特産品化、商品化を促進し、若者や移住者が職業として選択できるようにします。

FSC®森林認証を活用した木材の高付加価値化により、市場での優位性を確保し、完熟林業への進化を図ります。

地域が主体となって地域課題を解決する仕組みとして、コミュニティビジネス創出の機会を広げます。

有害鳥獣を排除して農林業被害を防止するとともに、獣肉を活用する仕組みづくりを進めます。

中山間地域で生産したものが、直売所、朝市、市内店舗などで販売され、市内の消費者に届くよう取り組みを進めます。また、学校給食においては、子どもたちの食育に役立つ取り組みを進めます。

地域を支えてきた商店街の新たな原動力を発信し、地域の賑わいだけでなく都市部のファンを増やしていきます。

中山間地域に多くある史跡、有形・無形の文化財、伝統文化、芸術、祭りなどの歴史的・文化的資産を効果的にPRすることで、古いにしへの文化を体感できる地域づくりを進め、都市部市民との交流が生まれる環境をつくり出します。

豊かな自然環境や観光資源など、中山間地域ならではの地域資源を強みにして積極的に発信するとともに、農家民宿や民泊などに取組む体制をつくることで、中山間地域ならではの観光・交流体験を提供し、地域の賑わいをつくり出します。

産学バス、送迎バスなどが目的に応じた輸送サービスを提供するとともに、主要幹線である路線バスと支線となる地域バス等、地域の日常生活における交通手段を維持・確保します。

遠隔ネットワークの整備を行うとともに、情報通信技術を活用することで、地理的に不利な条件を補い、安心して生活できる環境づくりを進めます。

上水道・簡易水道のほか、飲料水供給施設などを徹底的に維持管理し、どの家庭でも、安心して安全な飲料水が確保できるようにします。

必要人材を確保・育成して、子育て、医療、介護など、必要サービスを提供し、地域で受けられるようにします。

郵便、宅配、お金の引き出しの心配がなく、食料品など日常生活に必要なものが地域で購入できるようにします。

中山間地域の特性を踏まえ、災害情報伝達手段や避難体制を拡充するとともに、土砂災害や稀りょう等の老朽化への対応を強化し、日頃から災害に備えます。